



第 45 回

福島医学検査学会

第 45 回福島医学検査学会並びに

平成 25 年度(社)福島県臨床衛生検査技師会定期総会

会 期 平成 25 年 5 月 26 日(日)

会 場 福島県立医科大学 看護学部・講堂

学会長 小関 正弘

担 当 社団法人福島県臨床衛生検査技師会 県北支部



ご あ い さ つ

第 45 回 福 島 医 学 検 査 学 会
学 会 長 小 関 正 弘

第 45 回福島医学検査学会ならびに平成 25 年度（社）福島県臨床衛生検査技師会定期総会を福島市で開催するにあたり、担当支部を代表致しまして歓迎のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、東日本大震災から 2 年を過ぎましたが、震災による被害だけでなく原発事故後の汚染水漏洩の問題や農水産物風評被害など福島県はまだまだ復興したとは言えない状態にあり、職場あるいは家庭で不安を抱えながらの生活を送っていると思います。

臨床検査技師として私たちは、福島県県民の健康を守るため、また原発事故による健康被害等の問題解決のため貢献する事は数多くあると思います。私たちは医療のみならず広く知識を高め、よりテクニックを研鑽する必要があると、各種学会や各種研修会等を通じ、会員のレベルアップを図らなければなりません。

今回の第 45 回福島医学検査学会の演題発表は福島県立医科大学看護学部で、総会・公開講演は福島県立医科大学講堂で開催いたします。

一般演題発表は各支部より 36 題の演題申込みがあり、登録いただきました会員の皆様と、ご協力をいただきました関係各位へ感謝申し上げます。日頃の研究成果を十分に発揮され、活発な討論の場として活用していただければ幸いです。

公開講演は独立行政法人国立成育医療センター研究所 再生医療センター 生殖・細胞医療研究部 幹細胞・生殖学研究室 室長の阿久津英憲先生に「難病へ挑むヒト ES/iPS 細胞研究の展望～培養皿からベットサイドへの挑戦～」の講演をいただきます。現在話題の再生医療について解り易い講演をいただけるものと楽しみにしております。

会員の皆様におかれましては、有意義な時間を過ごしていただき、今後の福島県医学検査学会の未来に繋がりますよう祈念し挨拶といたします。

第 45 回福島医学検査学会

並びに

平成 25 年度(社)福島県臨床衛生検査技師会定期総会

会期 平成 25 年 5 月 26 日 (日)

会場 福島県立医科大学 看護学部・講堂

学会長 小関 正弘

2013年

主催：社団法人福島県臨床衛生検査技師会

担当：県北支部

プログラム

平成 25 年 5 月 26 日 (日)

福島県立医科大学 看護学部・講堂

- 受付時間 8 : 3 0 ~ 看護学部 1F エントランス
- 開会の辞 9 : 0 0 ~ 斎藤 祐一 (大原医療センター)
- 一般演題発表 9 : 0 5 ~ 1 0 : 2 5
- 学会長挨拶 1 0 : 3 5 ~ 小関 正弘 (大原総合病院)
- 式典・定期総会 1 0 : 4 0 ~ 1 1 : 5 0
- 特別講演 1 2 : 0 0 ~ 1 3 : 3 0
- 座長 小関 正弘 (大原総合病院)
- 演題 『難病へ挑むヒトES/iPS細胞研究の展望
～培養皿からベットサイドへの挑戦～』
- 講師 独立行政法人国立成育医療研究センター研究所
再生医療センター生殖・細胞医療研究部幹細胞・生殖学研究室室長
阿久津 英憲 先生
- 閉会の辞 1 3 : 3 0 菅野 茂 (福島県労働保健センター)

《お知らせとお願い》

1. 総合受付

- ・ 場 所 福島県立医科大学 看護学部 1F エントランス
- ・ 受付時間 8:30～
- ・ 学会参加費 1,000 円（学生：無料） 会員証をご持参ください。

2. 一般演題発表

- ・ 発表と質疑は座長の指示に従ってください。
- ・ 発表時間は 7 分、質疑は 3 分です。
(7 分でブザーが鳴ります。時間厳守でお願いします。)
- ・ 個人情報特定されないように充分留意して発表してください。
- ・ コピーした発表データは発表終了後消去いたします。
- ・ 発表者は、次演者席で待機し、前席発表が終了しだい座長の演者紹介を待たずに演者席に登壇してください。
- ・ 発表者・座長の変更は速やかに総合受付にご連絡ください。

3. 生涯教育研修について

- ・ 総会および学会参加者には次の生涯教育点数が与えられます。

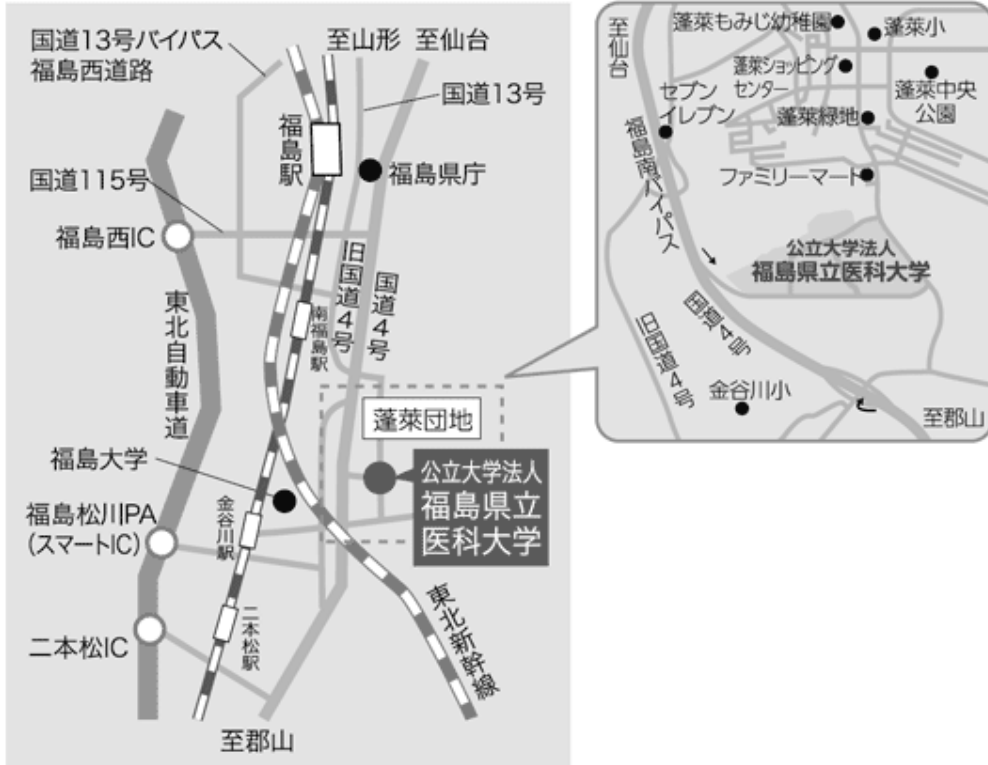
総会出席者	基礎	30 点
筆頭発表者	専門	40 点
共同発表者	専門	30 点
司会・座長	専門	30 点
学会出席者	専門	20 点

4. その他

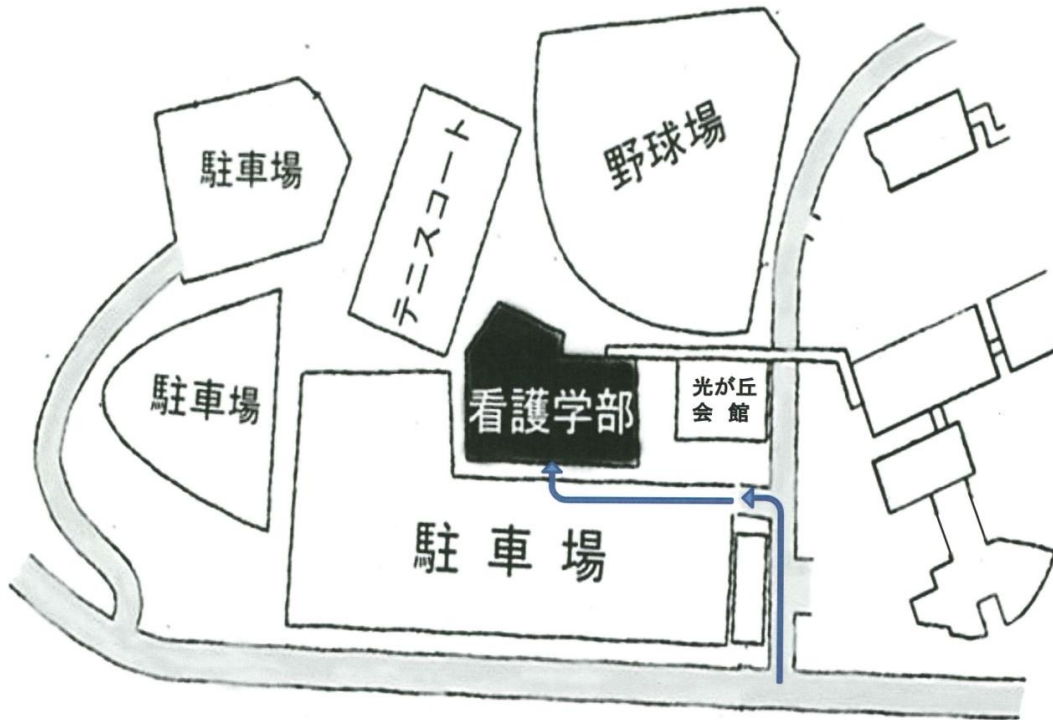
- ・ 一般演題発表会場、総会・特別講演会場では、携帯電話の使用をお控えください。電源を切るか、マナーモードへの切り替えをお願いします。
- ・ 会場内は飲食禁止です。
- ・ 会場内は禁煙です。ご協力の程お願い致します。
- ・ 入室を禁止している区域への立ち入りは厳禁です。

学会場案内

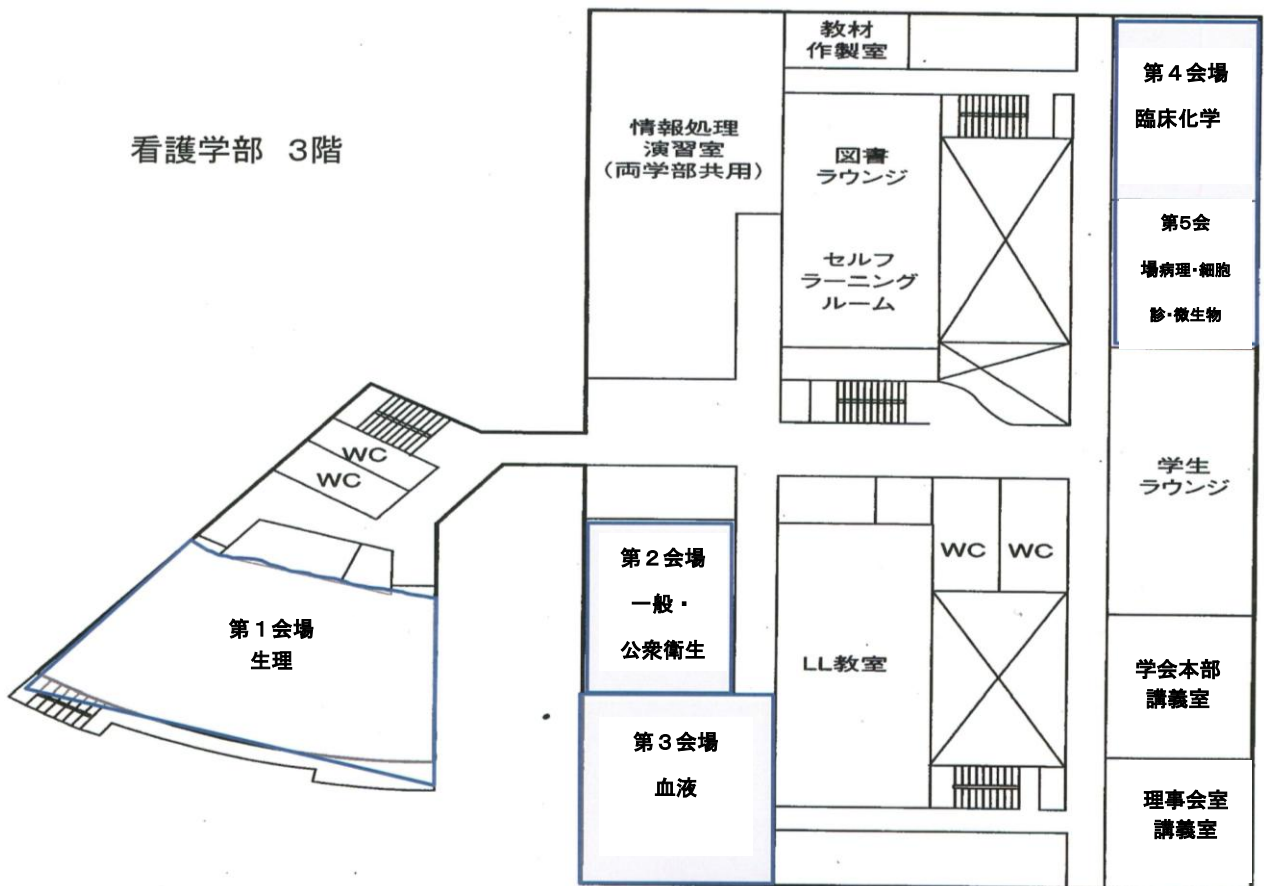
会場 福島県立医科大学看護学部
 住所 〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地
 TEL 024-547-1111 (代表)



第 45 回福島医学検査学会（施設案内図・会場案内図）



看護学部 3階



日 程 表

期 日 平成25年5月26日（日）

会 場 福島県立医科大学 看護学部、講堂

8:30	受付開始 看護学部 1Fエントランス				
9:00	開会の辞 看護学部 第1会場 斎藤 祐一（実行委員長 大原医療センター）				
	一 般 演 題 発 表				
9:05	第1会場 3F講義室 (N301)	第2会場 3F講義室 (S302)	第3会場 3F講義室 (S301)	第4会場 3F講義室 (S311)	第5会場 3F講義室 (S310)
9:35	生理 No. 1~4 座長 新藤 吉治技師 福島労災病院	一般 No. 9~12 座長 大竹 浩一技師 竹田総合病院	血液 No. 16~19 座長 佐久間康子技師 社会保険二本松病院	臨床化学 No. 23~26 座長 関根 正英技師 寿泉堂総合病院	病理 No. 30~32 座長 遠藤枝利子技師 竹田総合病院
9:45					細胞 No. 33~34 座長 穴戸ひろ美技師 太田西ノ内病院
9:55	生理 No. 5~8 座長 峯 徹次技師 福島赤十字病院生理	公衆衛生・その他 No. 13~15 座長 阿部 洋子技師 渡辺病院	血液 No. 20~22 座長 角田 淳子技師 星総合病院	輸血・免疫血清 No. 27~29 座長 馬場 弘美技師 呉羽総合病院	微生物 No. 35~36 座長 鈴木 佳代技師 呉羽総合病院
10:15					
10:25					
10:35					
10:40	学会長挨拶 講 堂 小関 正弘（学会長 大原総合病院）				
	式典・定期総会 講 堂 平成25年度（社）福島県臨床衛生検査技師会定期総会				
11:50					
12:00					
	公開特別講演 講 堂 『難病へ挑むヒトES/iPS細胞研究の展望 ～培養皿からベットサイドへの挑戦～』 独立行政法人国立成育医療研究センター研究所 再生医療センター 生殖・細胞医療研究部幹細胞・生殖学研究室 室長 阿久津 英憲 先生				
13:30	閉会の辞 講 堂 菅野 茂（総務部長 福島県労働保健センター）				

公開特別講演

難病へ挑むヒトES/iPS細胞研究の展望

～培養皿からベットサイドへの挑戦～

独立行政法人国立成育医療研究センター研究所

再生医療センター生殖・細胞医療研究部幹細胞・生殖学研究室室長

阿久津 英憲 先生

ES細胞とiPS細胞について

私たちのからだは、たった一つの細胞、受精卵からはじまります。受精卵が分裂を繰り返しながら、胚となって様々な組織や臓器がつくられ（分化）、個体が生まれてきます。着床直前の胚である胚盤胞は将来胎盤組織へ分化する栄養外胚葉と個体そのものを形成する内部細胞塊（ICM）からなり、胚性幹細胞（ES細胞）はICMから特定の体外培養条件下で樹立できる幹細胞です。ES細胞は無限に細胞増殖できる能力（自己複製能）とからだすべての細胞や組織に分化できる能力（多分化能）をもつ分化多能性幹細胞です。人工多能性幹細胞（iPS細胞）は、体細胞へ転写因子（遺伝子）群を導入し樹立できる幹細胞でES細胞と同じ自己複製能と多分化能を併せもっています。体細胞から“発生の時計を戻す”ように未分化性を再獲得することを初期化（リプログラミング）といい、iPS細胞をつくる転写因子（Oct4, Sox2, Klf4, c-Mycなど）をリプログラミング因子（“山中因子”）ともいいます。

ヒトES/iPS細胞とその臨床応用

ヒトES/iPS細胞は、創薬開発や疾患メカニズム解明への応用、更には次世代の細胞治療応用へと世界中の注目を集めてきています。2010年10月には、世界で初めてのヒトES細胞を用いた臨床試験が急性脊髄損傷に対して米国で始まり、更に別なグループによる黄斑変性疾患（非滲出型加齢黄斑変性症とシュタルガルト病）に対するヒトES細胞を用いた臨床試験が米国と英国で計20症例以上行われています（2013年3月現在）。

一般的に、細胞治療を主にした再生医療の確実な成功には、治療に足る十分な細胞数を得ることであり、その細胞培養工程では品質管理と評価方法が確保され各種の汚染を防いで良質な細胞を提供しなければなりません。国立成育医療研究センターでは、再生医療に対応したヒト多能性幹細胞培養システム構築の試みから、異種成分を含まないゼノフリー培養システムの開発研究を行い、ヒトES細胞を新たにゼノフリー下で樹立することに成功しています。今回は、ヒトES細胞とiPS細胞研究の現況と小児難治疾患に対する我々のヒトES細胞研究の取組みについて紹介します。

【生理】 9:05~9:45 ◎座長 新藤 吉治 技師 福島労災病院

- 1 経頭蓋電気刺激による運動誘発電位モニタリングの有用性と問題点
福島赤十字病院 検査部¹⁾ 脳神経外科²⁾
○白鳥裕樹¹⁾ 佐藤美千子¹⁾ 氏家洋幸¹⁾ 峯徹次¹⁾
鈴木恭一²⁾ 市川剛²⁾ 渡部洋一²⁾
- 2 当院終夜睡眠ポリグラフィ検査における職業運転者と非従事者の比較検討
養生会かしま病院 臨床検査科
○野木典久 郷田順子 佐藤聡子 芳賀恵美 菅波由美子 柴田昭浩
- 3 神経伝導検査 - 虫様筋・骨間筋比較法の基礎的検討
太田総合病院附属太田熱海病院 臨床検査部
○北島明子 近藤好恵 渡辺由恵 佐藤美樹 品田佳位 米倉めぐみ
渡辺美津江 大内武夫 小竹美佐江 風間由美 田村清子 松本幸男
- 4 CPAP治療による睡眠指標の変化と自覚症状との関連性について
太田総合病院附属太田西ノ内病院 総合睡眠医療センター
○黒田奈央子 黒崎幸子 高田佳奈 菊地歩 矢吹恭子 鈴木千晶
保田智香 田尻三千代 櫻井尚子 兼田享子 山寺幸雄

【生理】 9:45~10:25 ◎座長 峯 徹次 技師 福島赤十字病院

- 5 乳頭筋不全断裂を呈した急性心筋梗塞の一例
医療生協わたり病院 臨床検査科
○齋藤寛美 氏家道夫 阿部春奈 野崎陽子 野田繁子
- 6 経胸壁心エコーにて先天性大動脈一尖弁を疑った1例
太田総合病院附属太田西ノ内病院 生理検査科
○佐藤尚子 小室和子 小松真司 吉田靖子 相原理恵子 金内あかね
渡部さゆり 山寺幸雄
- 7 超音波検査で描出可能であった女性尿道癌の3例
太田総合病院附属太田西ノ内病院 生理検査科
○田尻三千代 武藤文彦 鈴木千晶 吉田靖子 渡部さゆり 松田美津子
山寺幸雄
- 8 経食道心エコーにて確認された下行大動脈巨大血栓の一例
福島県立医科大学附属病院検査部¹⁾ 福島県立医科大学循環器・血液内科学講座²⁾
○堀越裕子¹⁾ 元木ゆみ¹⁾ 遠藤由美子¹⁾ 佐藤ゆかり¹⁾ 堀越由紀子¹⁾
羽田良子¹⁾ 目黒サキ子¹⁾ 大花昇¹⁾
巽真希子^{1, 2)} 及川雅啓²⁾ 小林淳²⁾ 中里和彦²⁾ 竹石恭知²⁾

【一般】 9:05~9:45 ◎座長 大竹 浩一 技師 竹田綜合病院

- 9 当院で経験したジアルジア症の一症例
太田綜合病院附属太田西ノ内病院 臨床検査部 検体検査科
○吉田雅子 今野淳子 星雅子 小針美弥子 渡邊良二 増子晶子
前田順子 白石満
- 10 尿沈渣所見が発見に結びついた膀胱癌の1例
大原綜合病院 臨床検査科¹⁾ 病理診断科²⁾
○佐藤康弘¹⁾ 加羽澤慧¹⁾ 相田恵美子¹⁾ 赤間孝紀¹⁾ 小関正弘¹⁾
渡邊純子²⁾ 安斎有紀子²⁾ 内海康文²⁾
- 11 尿沈渣鏡検における一般検査・細胞診検査の連携と取り組み
いわき市立総合磐城共立病院 中央検査室
○松本康歳 蛭田留里子 風間正明 木田有起子
- 12 Vogt-小柳-原田病による髄液細胞数増多の一例
福島県立医科大学附属病院 検査部
○嶋田有里 滝さゆり 山崎優美 河合裕美 鈴木律子 田中京子
大花昇

【公衆衛生 他】 9:45~10:15 ◎座長 阿部 洋子 技師 渡辺病院

- 13 当院検査部における手指衛生の現状
いわき市立総合磐城共立病院
○吉田奈津紀 緑川愛美 若松和代 金子美千代
- 14 臨床検査科を知ってもらうための取り組み
医療生協わたり病院 臨床検査科
○山田太一
- 15 再採血の現状と今後の課題
福島県保健衛生協会 県南地区センター
○宇田喜恵子 渡邊崇史 桐生理江 松原美佐子 渡辺伸

【血液】 9:05~9:45 ◎座長 佐久間康子 技師 社会保険二本松病院

- 1 6 末梢血中に flower cell を認めた事で迅速に診断し得た ATLL の 1 症例
太田総合病院附属太田西ノ内病院臨床検査部 検体検査科¹⁾ 同 血液内科²⁾
○服部祐太¹⁾ 圓谷映理¹⁾ 安藤菜緒美¹⁾ 見付祐子¹⁾ 中村美雪¹⁾
五十嵐典子¹⁾ 白石満¹⁾ 斎藤由理恵²⁾ 松田信²⁾
- 1 7 炎症により著明な血小板増多をきたした MDS の一症例
太田総合病院附属太田西ノ内病院臨床検査部 検体検査科
○圓谷映理 服部祐太 安藤菜緒美 見付祐子
中村美雪 五十嵐典子 白石満
- 1 8 健診の血小板数増多により診断された慢性骨髄性白血病の一例
大原総合病院附属大原医療センター 臨床検査科¹⁾ 同循環器内科²⁾
大原総合病院 臨床検査科³⁾ 同内科⁴⁾ 福島県立医科大学附属病院検査部⁵⁾
福島県立医科大学循環器・血液内科学講座⁶⁾
○藤野博子¹⁾ 佐藤裕樹¹⁾ 渡辺和幸¹⁾ 斎藤圭子¹⁾ 石橋敏幸²⁾ 4)
藤東千香子³⁾ 斎藤洋子⁵⁾ 田中京子⁵⁾ 大花昇⁵⁾ 池田和彦⁶⁾ 小川一英⁶⁾
- 1 9 緩慢な経過をたどっている急性骨髄性白血病の一例
福島県立医科大学附属病院検査部¹⁾ 同 循環器・血液内科²⁾
○佐久間信子¹⁾ 丹野大樹¹⁾ 村越まゆみ¹⁾ 吉田詠子¹⁾ 渡辺洋子¹⁾
伊藤真弘¹⁾ 菅野喜久子¹⁾ 斎藤洋子¹⁾ 田中京子¹⁾ 大花昇¹⁾
原田佳代²⁾ 池田和彦²⁾ 野地秀義²⁾ 小川一英²⁾

【血液】 9:45~10:15 ◎座長 角田 淳子 技師 星総合病院

- 2 0 骨髄穿刺施行例の臨床的検査背景について
寿泉堂総合病院 臨床検査科¹⁾ 総合内科²⁾
○武士俣こずえ¹⁾ 関根正英¹⁾ 平山貴博¹⁾ 新野綾子¹⁾ 川田直樹¹⁾ 増子和之¹⁾
岡本正俊²⁾
- 2 1 検体並び替え装置 TS-2000 の導入効果について
江東微生物研究所 微研東北中央研究所
○桑名幸治 平山善雄 野口健一 濱田邦彦
- 2 2 出血時間検査中止に向けての取り組み
竹田総合病院 臨床検査科
○佐藤修 大関元子 小原真理 大竹浩一 伊勢亀撰子 高田直樹 齋藤市弘

【臨床化学】 9:05~9:45 ◎座長 関根 正英 技師 寿泉堂総合病院

- 23 プロカルシトニンの半定量測定と定量測定の比較検討
いわき市立総合磐城共立病院 中央検査室
○柳内智哉 杉山洋子 谷田貝慎一 管野麻美 佐藤悟 橋本真希
- 24 当院における免疫固定法の20年間の集計結果
太田総合病院附属太田西ノ内病院 臨床検査部 検体検査科
○樫村有紀 田村智美 蛭田沙知 本田めぐみ 荒川英裕 吉田幸雄
紺野美奈子 田村功 白石満
- 25 血小板増多により偽性高カリウム血症がみられた症例
福島県立医科大学附属病院検査部¹⁾ 福島県立医科大学医学部循環器血液内科学講座²⁾
○渡部聖子¹⁾ 半沢雄助¹⁾ 高橋智里¹⁾ 木村朋子¹⁾ 羽根正子¹⁾ 大矢みどり¹⁾
石川英昭¹⁾ 佐々木義和¹⁾ 加藤裕子¹⁾ 田中京子¹⁾ 大花昇¹⁾
及川雅啓²⁾ 竹石恭知²⁾
- 26 当院外来患者におけるeGFRの傾向と分布
大原総合病院 臨床検査科¹⁾ 大原総合病院附属大原健康クリニック²⁾
大原総合病院附属大原医療センター³⁾
○加羽澤慧¹⁾ 佐藤康弘¹⁾ 齋藤沙織¹⁾ 赤間孝紀¹⁾ 八巻史子²⁾
齊藤圭子³⁾ 小関 正弘¹⁾

【輸血・免疫】 9:45~10:15 ◎座長 馬場 弘美 技師 呉羽総合病院

- 27 免疫性血小板減少による輸血不応答を認めた1症例
太田総合病院附属太田西ノ内病院 臨床検査部 検体検査科 輸血管理室
○星雅子 遠藤綾 橋本はるみ 大知里京子 渡辺隆幸 作間靖子 白石満
- 28 自動輸血検査機器(マイクロプレート法およびゲルカラム凝集法)と用手法による血液型・不規則抗体検査の比較検討
福島県立医科大学附属病院 輸血・移植免疫部
○小野貴子 曳地理絵 川畑絹代 安田広康 小野智 菊地正美
齋藤俊一 佐久間友姫 芳賀希美 畠山浩昭 大戸斉
- 29 原発性甲状腺機能低下症による著名なTSH増加
～下垂体腫大と高プロラクチン血症を呈した1例～
竹田総合病院 臨床検査科¹⁾ 東北大学大学院 医学系研究科内分泌応用医科学²⁾
竹田総合病院 山鹿クリニック内科³⁾
○山本肇^{1) 2)} 石幡哲也¹⁾ 折笠ひろみ¹⁾ 松本悠香¹⁾ 鈴木益代¹⁾ 高田直樹¹⁾
齋藤市弘¹⁾ 高橋和広^{2) 3)}

【病理】 9:05~9:35 ◎座長 遠藤枝利子 技師 竹田綜合病院

- 30 Hirschsprung 病の診断に有用な免疫組織化学染色の検討
¹⁾福島県立医科大学附属病院病理部 ²⁾福島県立医科大学医学部病理病態診断学講座
○島貫聡美¹⁾ 金子裕眠²⁾ 一條あゆみ¹⁾ 畠山麻梨子¹⁾ 濱屋美樹子¹⁾
川名聡²⁾ 北條洋²⁾
- 31 子宮原発悪性リンパ腫の一部検例
いわき市立総合磐城共立病院 中央検査室¹⁾ 同 病理科²⁾
○高橋勝美¹⁾ 蛭田道子¹⁾ 森菊夫¹⁾ 山崎一樹¹⁾ 小野早苗¹⁾ 池田藍¹⁾
渡辺 順¹⁾ 浅野重之²⁾
- 32 病理細胞診室からの一提案 ~男子トイレと女子トイレのリフォーム~
社団医療法人養生会かしま病院 臨床検査科 病理
○大平敦子 金子隆子 増田恭子 渡邊小百合 野木典久 柴田昭浩

【細胞診】 9:35~9:55 ◎座長 宍戸ひろ美 技師 太田西ノ内病院

- 33 乳癌手術後に認めた対側腋窩原発ホジキンリンパ腫の1例
かしま病院 臨床検査科¹⁾ 細胞診指導医²⁾ 乳腺外科医³⁾ 福島県労災病院 病理医⁴⁾
○渡邊小百合¹⁾ 金子隆子¹⁾ 増田恭子¹⁾ 大平敦子¹⁾
今井督²⁾ 鈴木正明³⁾ 箱崎半道⁴⁾
- 34 組織推定に苦慮した浸潤性乳管癌の1例
竹田綜合病院 病理診断科¹⁾、臨床検査科²⁾、同外科³⁾
○二瓶憲俊¹⁾ 小滝昇¹⁾ 山田真梨子¹⁾ 甲賀洋光¹⁾ 宮森力夫¹⁾
佐藤欽一¹⁾、遠藤枝利子¹⁾、山口佳子¹⁾、富永邦彦²⁾、岡崎譲³⁾

【微生物】 9:55~10:15 ◎座長 鈴木 佳代 技師 呉羽綜合病院

- 35 Lancefield の血清型別で A 群に凝集した
Streptococcus dysgalactiae subsp. Equisimilis
福島県立医科大学附属病院検査部
○今井美菜子 本田睦子 岡崎恵美 高野由喜子 大橋一孝 早川希威 大花昇
- 36 細菌検査における至急連絡事項の再検討
竹田綜合病院 臨床検査科
○安部悠子 坂本有子 秋元誠 渡部政一 芳賀厚子 高田直樹 齋藤市弘

福島県臨床衛生検査技師会 福島医学検査学会 開催地・学会長一覧

回数	年次	開催地	学会名
第1回	昭和44年	会津若松市	落合玄一
第2回	昭和45年	福島市	阿部清一
第3回	昭和46年	いわき市	阿部清一
第4回	昭和47年	郡山	阿部清一
第5回	昭和48年	福島市	鈴木勝男
第6回	昭和49年	郡山	鈴木勝男
第7回	昭和50年	福島市	鈴木勝男
第8回	昭和51年	会津若松市	鈴木勝男
第9回	昭和52年	会津若松市	齋藤功
第10回	昭和53年	いわき市	齋藤功
第11回	昭和54年	郡山	佐藤操
第12回	昭和55年	福島市	佐藤操
第13回	昭和56年	会津若松市	遠藤庄蔵
第14回	昭和57年	いわき市	植頭義之
第15回	昭和58年	郡山	飯野正吉
第16回	昭和59年	福島市	安永吉
第17回	昭和60年	会津若松市	井上馨一
第18回	昭和61年	いわき市	山崎美
第19回	昭和62年	郡山	高山俊一
第20回	昭和63年	福島市	高吾正一
第21回	平成元年	会津若松市	室井克彦
第22回	平成2年	会津若松市	酒井克彦
第23回	平成3年	白河市	西川陽吉
第24回	平成4年	いわき市	西村多信
第25回	平成5年	福島市	本多信治
第26回	平成6年	会津若松市	本井宗治
第27回	平成7年	原町市	酒井克彦
第28回	平成8年	郡山	酒渡内子
第29回	平成9年	いわき市	山中内村郁夫
第30回	平成10年	福島市	青木富美男
第31回	平成11年	会津若松市	小林正一
第32回	平成12年	原町市	小安藤政隆
第33回	平成13年	郡山	安藤政隆
第34回	平成14年	いわき市	大金花昇
第35回	平成15年	福島市	大矢花澤
第36回	平成16年	会津若松市	小柳林正
第37回	平成17年	小郡市	柳林正
第38回	平成18年	郡山	柳沼一
第39回	平成19年	いわき市	山口順市
第40回	平成20年	福島市	山藤高志
第41回	平成21年	会津若松市	齋藤弘美
第42回	平成22年	南相馬市	齋藤利和
第43回	平成23年	福島市	武増子昭
第44回	平成24年	いわき市	柴田浩
第45回	平成25年	福島市	小関正弘